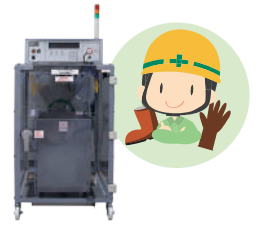


(株)ネクスコ東日本エンジニアリング様

必要な時に必要な場所で、誰でも絶縁用保護具の自主試験が可能！



IKシリーズは、絶縁用保護具の自主試験装置です。ヘルメット・長靴・手袋は労働安全衛生法の規定で半年に一度の試験が必要ですが、IKシリーズなら特別な資格不要で自主試験が可能です。

http://www.keisoku.co.jp/pw/product/measuring/ik_series.html

試験の流れ



1

試験対象物の用意

今回試験を行ったのは、高電圧用ゴム手袋、電気用ゴム長靴、そして低圧絶縁用保護手袋を数セットずつ。1つにかかる試験時間は交換時間を含め3分程なので、一度にまとめて試験することが可能です。



2

試験装置の設置

耐電圧試験器を試験水槽の上にセットし、接続を行います。可搬式ですので、必要な際に任意の場所に設置可能です。今回は、ネクスコ様の作業場にて試験を行いました。



3

水槽の準備

ホースを使用して水槽に水を溜めたら試験対象の長靴をセットします。付属のケージを目安にし、水の量を調整します。



4

試験対象物(長靴)をセット

試験対象の長靴の中におもりと水を入れ、付属クリップで固定します。



5

試験開始

水槽の扉を閉め、付属のリモコンスイッチを押すとすぐに試験を開始できます。装置の後ろ側は電圧が高いのでご注意ください。(ネクスコ様は右記写真のような立入禁止のテープをご用意しておりました。)



6

試験終了

パトライトが黄色の際は試験中ですが、試験が無事に完了すると緑色に変化します。ネクスコ様は、試験した長靴の管理番号と試験結果を写真にて記録されていました。



7

乾燥中

試験を終えた長靴は乾燥後にすぐにご使用いただくことが出来ます。

写真撮影ご協力



(株)ネクスコ東日本エンジニアリング

今回撮影にご協力いただいたのは、(株)ネクスコ東日本エンジニアリング施設保全課の皆様です。

(株)ネクスコ東日本エンジニアリング様は主に東日本高速道路管轄の首都圏の高速道路を保全管理されています。施設保全課では、受配電設備試験の年次点検を行っており、高電圧ゴム手袋、電気用ゴム長靴、低圧絶縁用保護手袋を多数所用されています。

担当の方には絶縁用保護具の自主試験装置を初めてご使用いただきましたが、この装置を使用しスムーズに試験を終えることが出来ました。



発行：(株)計測技術研究所
パワーエレクトロニクス事業部 営業部
URL：<http://www.keisoku.co.jp/pw/>
tel：044-223-7950
E-mail：PWsales@hq.keisoku.co.jp